

## ChatGPT の戦略的な活用に向けた庁内研究チームを設置

三田市は、さんだ里山スマートシティ構想の中で「デジタル時代に相応しい市役所になる」を掲げて取り組んでいます。

このたび、自然言語型の人工知能チャットボットである ChatGPT (チャットジーピーティ) を業務で活用することを目指し、活用場面の調査や利用ルールの策定などに取り組む研究チームを庁内に設置しました。国内外の動向を踏まえつつ、先進的に取り組む他の自治体との連携や、有識者からのアドバイスを得ながら、今秋を目途に導入のガイドラインの確立を目指します。

<ChatGPT とは> ※ChatGPT からの回答を修正して掲載

ChatGPT は、OpenAI 社が開発したツールで、自然言語処理を使用して、人と人工知能とのやりとりを通じて、人々に役立つ情報やアドバイスを提供することができます。ChatGPT は、チャット形式で質問に答えたり、会話を続けたり、文章を生成したりすることができます。

### 1 取り組みの方向性

ChatGPT は、国においても活用の指針や運用基準などについて研究・検討されている段階であり、現状その導入は各自治体の判断になります。また ChatGPT は、ユーザーからの質問内容を ChatGPT の教育のために収集し、トレーニングすることで常に性能改善していることから、活用には IT リテラシーが求められます。現段階では、以下のような方針で今月下旬から一部の部署で試験的に利用を始め、今秋以降の本格的な導入に向けて検討を進めます。

- ① とりあえず使ってみて、どういうものかを体験する。
- ② ChatGPT の回答をそのまま公文書や公開文書として使わない。
- ③ 個人情報など、機密性の高い情報は利用しない。
- ④ あくまでも業務の参考程度の活用とする。
- ⑤ ChatGPT の回答内容は慎重かつ十分に精査し確認する。

### 2 推進体制

